



発表会を成功させる練習はこれだ！

## 1.しっかり暗譜

## 2.しっかりメロディー

## 3.本番のつもりで

### 1.しっかり暗譜

暗譜は楽譜を暗記して演奏すること。

どうやったら暗譜できますか？という質問にお答えします。

みなさんは校歌を何も見なくても歌えるよね。なぜ？

学校までの道は地図を見なくても迷わず行けるよね。なぜ？

校歌は何回も学校で歌っているうちにおぼえたよね。

毎日学校へ行くうちに道もおぼえたでしょう。

ピアノも同じ。何回も弾くうちにおぼえられます。

**暗譜するために何回もたくさん練習するから、自信を持って発表会で弾けるね！**

### 2.しっかりメロディー

上手な演奏、感動的な演奏ってどんな演奏でしょう？

暗譜がて、まちがえないで弾けることだけが上手な演奏じゃないよ。

音楽は美しく演奏することが大切！美しい演奏は聞いていて心地よい。

**メロディーがよく聞こえるようにメロディー以外の音の大きさを考えて弾きましょう。**



## 3.本番のつもりで

本番のための練習をしよう。

練習中は「練習だから間違ってもだいじょうぶ、失敗してもだいじょうぶ」と思つて練習していませんか？

本番は「間違えないぞ、失敗しないぞ」と思って演奏しますよね。

本番の時だけ「間違えないぞ、失敗しないぞ」と思っても、脳や体は練習中に「間違ってもだいじょうぶ、失敗してもだいじょうぶ」ということに慣れてしまっていますから急に「間違えないぞ、失敗しないぞ」ということは脳も体も無理、無理。スポーツ選手が試合前に「練習の通りにやればだいじょうぶ、勝てる」という話をしていますが、ピアノも同じ。

スポーツ選手は試合と同じ練習をしているのです。

**ピアノも本番のつもりで「間違えないぞ、失敗しないぞ」と練習をしましょう。**

### ペダルを使用する方へ

発表会の2週間くらい前になったら、本番ではく靴をはいて練習をしましょう。

普段は足の裏が直接ペダルに触れていますが、靴底でペダルを踏む感触に慣れましょう。

もちろんレッスンにも持って来てくださいね。



### レスナーIのコーヒーブレイク(I先生のつぶやき)

10月に開催された「ショパンコンクール」。5年に一度、ショパンの祖国ポーランドのワルシャワという都市で20日間にわたり開催される100年の歴史をもつコンクールです。入賞すれば一流ピアニストとして世界に認められます。今年の優勝はアメリカ人のエリック・ルーザン。日本人は4位の桑原志織さん、9位の進藤実優さんが入賞。

ショパンコンクールでは出場するピアニストが、自分が使いたいピアノを世界的有名なメーカー5台の中から選びます。アメリカのスタインウェイ、ドイツのベヒシュタイン、イタリアのファツィオリ、日本のカワイとヤマハ。世界的有名なメーカーとして日本から2社選ばれています。すごいですね。

ちなみに発表会会場のピアノはベヒシュタイン社のピアノです。さあ！あなたもピアニストになつたつもりで発表会では一生懸命、すてきな演奏をしましょう。